

持続可能な社会を創造する文化的側面から
見た交通安全教育の再考

北村 友人

東京大学大学院教育学研究科教授

厳しい環境下に住む人々に施す交通安全教育の促進

- 私の専門分野: **発展途上国** (特にカンボジア) にフォーカスした**教育研究**
- **カンボジア**および大阪府**能勢町** (人口減少が顕著な山岳地帯) における交通安全教育の**IATSSプロジェクト**



交通安全—持続可能な社会のための交通文化の本質的な側面

- 交通安全教育により育てる **キー・コンピテンシー**
 - **知識**: 交通法および交通ルール、自転車やオートバイの保守
 - **スキル**: 自転車やオートバイの高いスキルに基づく運転
 - **価値観・態度・姿勢・行動**: 交通法および交通ルールの順守、自転車やオートバイの安全運転
- **意識**改革や、より安全でより持続可能な社会のための **マインドセット**の変容を促す **教育**
- **トレードオフ**: **至便性**と**コスト**（財政、労働、環境）の両立できない関係性

社会的弱者への配慮と3Eの重要性

- 交通文化においては、子供、高齢者、障害者等の社会的弱者へ配慮が一層必要になる。
- 「技術」側面: 技術により社会的弱者をどれくらい支援できるか。
- 「法執行」面: 該当システムが社会的弱者をどれくらい支援できるか。
- 「教育」側面: 社会的弱者の厳しい環境について我々はどれくらい理解できるか。

交通安全教育の重要業績評価指標

<社会と文化>

- 学校在籍者数
- 学生のICTアクセス
- 成人識字能力

<経済側面>

- 交通モニタリング
- 学校のeプロキュアメント

<経済：インフラストラクチャー>

- 公共交通機関ネットワーク利便性
- 歩行者用のインフラストラクチャー
- 都市開発および空間計画

<環境側面>

- 緑地のサステナビリティ